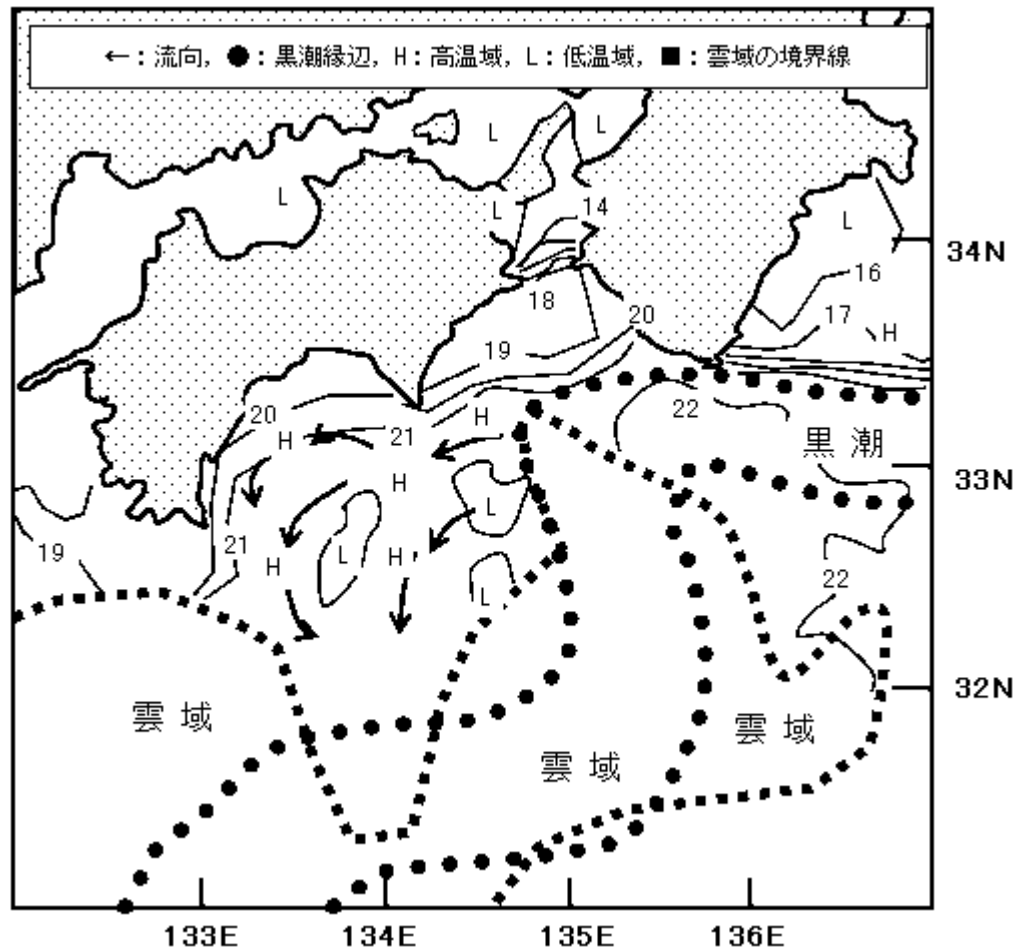


1. 海況の経過

1) 黒潮

小蛇行が紀伊水道沖を通過しているため、九州東岸～足摺岬～土佐湾～室戸岬南沖で大きく離岸し、紀伊水道沖～潮岬で接岸して流れている。潮岬南の黒潮離岸距離は5マイル以内。表面水温は21℃前後。



2) 海況

上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.1.12～13)を示した。

表面水温は播磨灘が12～13℃、紀伊水道内部が13～18℃、水道外部は18～21℃である。

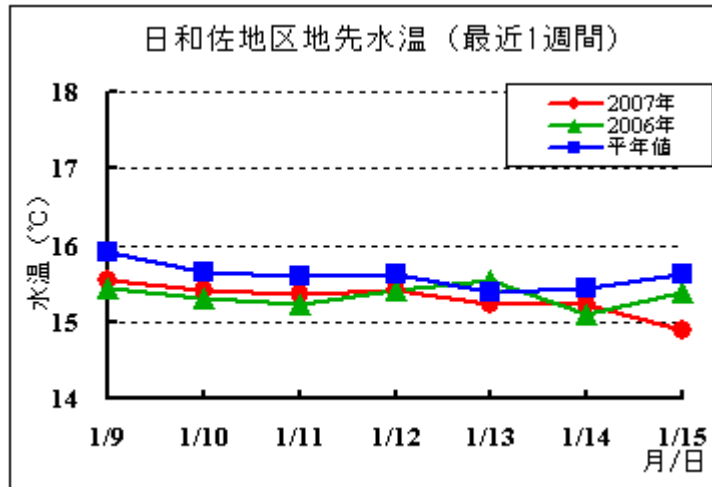
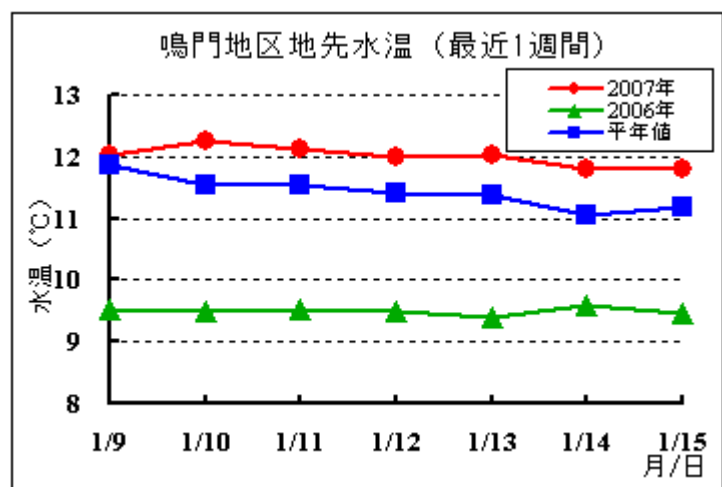
漁業調査船「とくしま」が1月9～11日に行った紀伊水道海区の海洋観測結果では、水温は、全層で「やや高め」の14.7～16.4℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2007/01/09,10,11)

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	14.7	14.8	15.4	15.8	16.4	今年値	32.7	33.1	33.3	33.5	33.8
平年偏差	0.9	0.8	1.0	1.2	1.2	平年偏差	-0.6	-0.3	-0.2	-0.1	-0.1
前年偏差	2.3	2.5	2.6	2.6	2.1	前年偏差	-0.8	-0.5	-0.3	-0.2	-0.2

3) 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の11.8～12.2℃で、日和佐地区が「やや低め」～「平年並み」の14.9～15.4℃で、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の14.1～15.0℃で推移した。



2. 漁況の経過

年末年始の休漁の影響で、出漁数が少ないため今週は掲載しません。

週間予報:

黒潮は、室戸岬が「かなり離岸」、潮岬沖が「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の10～11℃、日和佐地先で「やや低め」の14～15℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りで、メジロが3.2トン、パッチ網でシラスが11.6トン水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが4.1トン水揚げされた。

平成19年前期(1～6月)の漁海況予報(徳島県に関する部分)

独立行政法人水産総合研究センター(元水産庁研究所)および太平洋に面した県等の水産研究機関が共同で予報します。徳島県に関連する部分のみ抜粋しました。

詳しくはこちらをどうぞ。

<http://grwww004.pref.tokushima.jp/suisan/yoho/yohobun2007a.html>

海況

・薩南海域の黒潮北縁は、期間を通して屋久島南付近での変動が多く、期間後半の5月に接岸傾向、6月に離岸傾向となる。

・2006年11月に九州南東沖に形成された規模の大きい小蛇行が12月～1月四国沖を東進する。

・都井岬沖の離岸傾向は1月まで継続する。

・室戸岬沖～潮岬沖では小蛇行が通過する1月～2月に離岸傾向が強まる。

【薩南～房総沿岸域】

潮岬以西は「平年並み」～「高め」で小蛇行通過時に「低め」で推移する。

漁況

(1)マイワシ 依然として低水準。紀伊水道外域では前年並みか前年を下回る。

(2)ウルメイワシ 前年並み。

(3)マサバ及びゴマサバ マサバは低水準。ゴマサバ1、2歳魚は前年を下回る。3歳魚は前年を上回る。4歳以上は少ない。サバ類全体として前年を下回る。

(4)マアジ 前年を下回る。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上